

●4回目コロナワクチン接種

■接種対象者：

①60歳以上の方

②18歳～59歳で、基礎疾患がある方、BMIが30以上の方、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化リスクが高いと医師に認められた方

3回目を接種した18歳以上の方に4回目の接種券が発送されます。上記①、②以外の方は当面4回目のワクチン接種は受けられませんが、接種券は大切に保管してください。

■接種間隔：

3回目接種から5か月以上の接種間隔が必要です。

接種券は、3回目接種から5か月経過する約3週間前に発送されます。

■使用するワクチン：

初回接種、追加接種と同じく、当院ではファイザー社ワクチンを使用します。

■予約：

接種券、問診表と住所確認ができるものを持参の上、ご来院ください。

■4回目接種は必要か：

①イスラエルではこれまで世界に先駆けてコロナワクチンを接種しており、その知見を多くの国で参考にしています。4回目接種についてのイスラエルの論文をご紹介します。

2021年12月ごろよりイスラエルではコロナが急増しました。その要因として変異による免疫回避に加え、多くの国民がワクチン3回目接種から4か月以上経過していることがあげられます。ワクチン3回目接種から4か月以上経過している60歳以上の成人、医療従事者、高リスク集団に対して4回目接種が行われました。その結果、「**4回目接種は感染と重症化を抑制した**」と考察しています。

(Medical Tribune 2022 vol55 No.8 より引用しました)

②国内ではデルタ株と比べてオミクロン株の方が後遺症が多く残ると言われています。時間経過とともにワクチンによって作られた抗体は低下します。コロナに感染して、仮に軽症の場合でも後遺症が残ることも分かっています。**感染を防ぐ最も効果的な手立てはワクチンです。**

私自身は年齢からコロナワクチンの4回目の接種対象者に該当しますのでワクチン接種を受けます。